

第17号

発行日 平成18年春号

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

じょやえ だいせつぶんえ しゃかねはんえ

## 除夜会、大節分会、釈迦涅槃会の報告



←チラシ

12月31日の除夜会、2月3日の大節分会、2月15日の釈迦涅槃会と行持が目白押しでしたが、総代さん世話人さんなど多くの方々のご協力を得て今年も無事務めることができました。改めて御礼を申し上げます。

今年はまた大変寒さが厳しかったですが、天候が良く多くの参拝者で賑わいました。どの行事も歴史ある日本伝統の恒例行事であり、また地域を代表する催しとして楽しみにされております。引き続き、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

### 平成18年 仁叟寺年間行事予定

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1/1～1/3     | 年頭祈禱     |
| 1/3～1/7     | 年始挨拶     |
| 2/3         | 大節分会     |
| 2/15        | 涅槃会      |
| 3/12        |          |
| 大般若会/大施食会法要 |          |
| 3月中旬        | 筆供養法要    |
| 3/18～3/24   | 春季彼岸会    |
| 4/8         | 降誕会(花祭り) |
| 7/13～7/16   |          |
| 京浜地区盂蘭盆会    |          |
| 7月下旬        | 子供禅の集い   |
| 8/13～8/16   | 盂蘭盆会     |
| 9/20～9/26   | 秋季彼岸会    |
| 10月中旬       | 研修旅行     |
| 12/8        | 成道会      |
| 12/31       | 除夜会      |

毎週土・日曜日  
書道教室  
毎週水曜日  
定例坐禅会  
隔週水曜日  
華道教室・梅花講稽古



↑「福は内！」

甘酒は前日から  
↓仕込み作業を行います



↑ちびっ子節分の準備です



→上毛、毎日、産經各新聞にも掲載されました

→梅花講の方々と涅槃会のご供養





## 新墓地54区画分譲開始

前号でもお伝えいたしました、当寺の新墓地の造営工事が終了いたしました。現在分譲を開始しております。鉄筋を強固頑丈に入れ、耐震構造に配慮をした新墓地であります。お問い合わせなどは、当寺までご一報のほど、お願い申し上げます。

### ●仁叟寺新規墓地分譲区画と永代使用料●

6尺×6尺区画 34区画 350,000円

6尺×9尺区画 17区画 450,000円

9尺×9尺区画 3区画 700,000円

※6尺＝約1.8182メートル、9尺＝約2.7273メートル



↑基礎のしっかりした新墓地

## 花祭りのお知らせ

← 誕生佛様に甘茶を掛ける  
 昨年の様子

今年も4月8日（金）に花祭りを開催いたします。お釈迦様のお誕生日をお祝いする同行しゃくそんこうたん え持。正式には釈尊降誕会といひます。

誕生図といわれる当寺に400年伝わる掛軸を掲げ、誕生佛さまに甘茶をお掛けいたします。

また、参拝者全員に甘茶と記念品を用意しております。ご都合宜しい方は是非、この当寺恒例の伝統行持「花祭り」にご参加ください。



## 仁叟寺探索-14-

今回の探索では当寺本堂に掲げられている扁額「南山壽」を紹介いたします。

まつだいらのぶおき

この扁額は英明で知られる吉井藩藩主松平信發公の書であります。松平信發公は幕末の頃の吉井藩藩主で全国に先駆けての版籍奉還を行った開明派に属する藩主でもありました。明治にな

り姓を松平から吉井に改めましたので、当寺の扁額の署名は吉井信發となっております。またこの書が書かれた時は信發公は67歳であり最晩年でありました。風

いふうどうどう

ぼくせき

流人として知られ書も威風堂々たる素晴らしい墨蹟で

しんびつ

きしょう

あり、信發公の大きな真筆は町でも稀少です。。

「南山壽」は「なんざんじゅ」と読み、長寿を祝う言葉もあります。南山が崩れないように、その業は幾久しく堅固であるようにという意味であります。

以前この項で紹介したことのある、交流があったと言われる勝海舟の扁額と対になって掲げられてお

ります。



↑「南山壽」の扁額



## 寺誌編纂室通信-16-

仁叟寺誌の完成が予定より遅れておりまして、関係者各位にご心配をお掛けいたしております。

さてその寺誌の件で既にご承知だと思いますが、前回の総代世話人合同会議の席上、当寺より通知を出させていただきました。要約は以下の通りです。

- ①吉井町の文化財調査並びに文化財指定の変更
- ②建物や仏像など大規模な調査が入り現在も調査継続中
- ③寺誌作成にあたり新たな発見や要調査事項が幾つも見つかり、その確認や調査研究

以上三点で寺誌の原稿執筆や編纂作業に遅れが生じ、来年中には発刊できるように関係者一同引き続き努力をしておりますので、宜しくご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



↑ 精力的に行われる仏像の調査



↑ 昨年の様子（於、雙林寺様）

ぐんまけんそうとうしゅうせいねんかいしゅさい

## 群馬県曹洞宗青年会主催

りょくいんぜん つど

## 第44回緑蔭禅の集い

今年で第44回目を迎える、群馬県曹洞宗青年会主催の緑蔭禅の集いがここ仁叟寺を会場として開催される運びとなりました。日程は6月10日（土）～11日（日）です。

今年のテーマは「和」で、講師として大本山總持寺より大山布教部長老師をお迎えをいたします。1泊2日の日程で禅に触れ、仏教を学ぶ同行事は群曹青を代表するそれであり、当日は県内外はじめ多くの皆様の参加が見込まれます。興味のある方はこの機会に是非ご参加ください。

## ロン太郎です、ヨロシク！

前々号の寺報で、当寺の人気者だった飼犬のロン（雑種メス しっそう じょうほうていきょう 13歳）が昨年8月4日に失踪し、その情報提供を呼び掛ける記事 けいさい を掲載いたしました。その後、沢山の連絡をいただきましたが結局現在も行方不明のままです。連絡をしていただいた方々及びチラシを掲載してくださった関係の方々、改めて御礼を申し上げます。そんな折、事情を知った長根の尙幸和石材様が番犬として柴犬一頭を寄贈してくださいました。2歳のオスで柴犬でロン太郎と言います。ロンと同様可愛いがってください。



↑ ロン太郎

## 平成17年度寄附者一覧 (敬称略)

ししろう じもんいりだいざ  
獅子像及び寺紋入台座一対

吉井 金子明

ぎしきようおかみそり  
儀式用御剃刀

多胡 三国覚

けやきせいしよくだい  
櫟製燭台一対

吉井 小澤清次

みかげいしごしゃくかくとうろう  
御影石五尺角燈籠

東京 篠崎浩

ほりいりけやきせいちゅうおうこうだい  
彫入櫟製中央香台

東京 篠崎浩

からかねせいだいとうろう  
唐金製台燈籠

神保 神保知一

からかねせいだいとうろう  
唐金製台燈籠

吉井 神部トミエ

しゅめりきんぶちはっすん  
朱塗金縁八寸

川崎 太田信子

さるすべり  
百日紅 神保 柿田和良

むらさきちりめんたいえ じもんいりけさ  
紫縮緬大衣及び寺紋入袈裟

塩 向井敏昭

ふゆようりんししらさぎししゅうけさ  
冬用倫子白鷺刺繍袈裟

藤岡 飯塚栄治

々

多比良 桑子隆

々

吉井 峯崎廣一

つむぎじもんいりけさ  
紬寺紋入袈裟

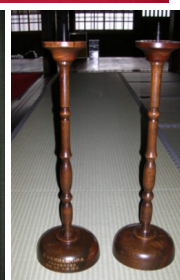
中島 山本裕孝

々

吉井 櫻井了

々

高崎 伊藤千恵子



どうもありがとうございました。合掌

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

昨年の流行語にも選ばれた「ブログ」を拙僧も開設いたしました。住職地である龍源寺と副住職を務めます仁叟

寺の他、日常に感じたことなど徒然に書き綴っております。宜しければ、ご覧下さい。アドレスは以下の通りです。

[http://blogs.yahoo.co.jp/jiunzan\\_ryugenji](http://blogs.yahoo.co.jp/jiunzan_ryugenji)

→ 当寺の彼岸  
桜(昨年)

